三菱重工

パッケージエアコン（R410A対応）
電算室用空調機

室内ユニット
DCVP280A1(-6)
DCVP450A1(-6)
DCVP560A1(-6)

取扱説明書

もくじ

このたびは三菱重工電算室用空調機をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、必ずこの説明書をお読みください。
●お読みになった後は、『据付工事説明書』とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
●保証書は、『お買い上げ日・販売店名』などの記入をお確かめの上、大切に保管してください。
●お使いになる方が代わる場合には、本書と『据付工事説明書』および『保証書』をお渡しください。
●お客さまご自身では、据付け・移設をしないでください。（安全や機能の確保ができません。）
●受注仕様としてお買い求めいただきました製品につきましては、本書の表現が製品と一部異なる場合があります。

安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、据付けてください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

⚠警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
⚠注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。

（一般注意）
（回転物注意）
（一般禁止）
（接触禁止）
（水ぬれ禁止）
（ぬれ手禁止）
（一般指示）
（アース接続）

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

電気配線工事は「第一種電気工事士」の資格のある者が行うこと。
気密試験は「冷凍装置検査員」の資格のある者が行うこと。

⚠ 警告

◎据付工事をするときに

ユニットの質量に耐えられるところに据付けること。

- 強度不足や取付けに不備がある場合、ユニットの転倒・落下のおそれあり。

指示を実行

販売店または専門業者が据付工事説明書に従って据付工事を行うこと。

- 不備がある場合、冷媒漏れ・水漏れ・感電・火災のおそれあり。

指示を実行

◎配管工事をするときに

冷媒が漏れていないことを確認すること。

- 冷媒が漏れると、酸素欠乏のおそれあり。
- 冷媒が火気に触れると、有毒ガスが発生するおそれあり。

指示を実行

◎電気工事をするときに

正しい容量のブレーカー（漏電遮断器・手元開閉器<開閉器＋B種ヒューズ>・配線用遮断器）を使用すること。

- 大きな容量のブレーカーを使用すると、故障・火災のおそれあり。

指示を実行

D種接地工事（アース工事）は第一種電気工事士（工事条件によっては第二種電気工事士）の資格のある電気工事業者が行うこと。

- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線などに接続しないこと。（ガス管にアースすると、ガス漏れ時に爆発・引火の可能性があります。）
- アースに不備がある場合、ノイズによるユニットの誤作動・感電・発煙・火災のおそれあり。
- 電算機器アースとの共用・共締めは行わないこと。機器誤動作の原因になるおそれあり。

アース接続

◎移設・修理をするときに

移設・分解・修理をする場合、販売店または専門業者に依頼すること。改造はしないこと。

- 不備がある場合、けが・冷媒漏れ・感電・火災のおそれあり。

禁止

◎一般注意

空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れないこと。

回転物注意

- ファンにより、けがのおそれあり。

先のとがった物でボタンを押さないこと。

使用禁止

- 感電・故障のおそれあり。

特殊環境では、使用しないこと。

使用禁止

- 油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用すると、著しい性能の低下・腐食による冷媒漏れ・水漏れ・感電・故障・発煙・火災のおそれあり。

異常時（こげ臭いなど）や不具合が発生した場合、運転を停止して電源スイッチを切ること。

指示を実行

- 異常のまま運転を続けると、故障や火災・感電のおそれあり。
- お買い上げの販売店またはお客様相談窓口にご連絡ください。

冷媒が漏れた場合の限界濃度対策を行うこと。

指示を実行

- 酸素欠乏のおそれあり。
- 限界濃度を超えない対策について、弊社代理店と相談して据付けること。
- ガス漏れ検知器の設置をすすめます。

⚠ 注意

◎運搬・据付工事をするときに

ユニットは水平に据付けること。

指示を実行

- 傾斜して据付けた場合、転倒するおそれあり。
- ドレン漏れのおそれあり。
- 水準器などで水平を確認すること。

◎据付工事をするときに

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところへ設置しないこと。

据付禁止

- 可燃性ガスがユニットの周囲にたまると、火災・爆発のおそれあり。

濡れて困るものの上に据付けないこと。

据付禁止

- 湿度が80%を超える場合や、ドレン出口が詰まっている場合、室内ユニットから露が落ちるおそれあり。また、室外ユニットからもドレンが出るため、必要に応じ室外ユニットも集中排水工事をすること。

長期使用で据付台などが傷んでいないか定期的に点検すること。

指示を実行

- 傷んだ状態で放置すると、ユニットの転倒・落下のおそれあり。

販売店または専門業者が据付工事説明書に従って排水工事を行うこと。

指示を実行

- 不備がある場合、雨水・ドレンなどが屋内に浸水し、家財・周囲を濡らすおそれあり。

◎配管工事をするときに

ドレントラップの封水をすること。

指示を実行

- 不備がある場合、水漏れにより、家財などが濡れるおそれあり。定期点検時に、トラップ内に注水し封水状態を確認すること。

◎電気工事をするときに

電源には漏電遮断器を取付けること。

指示を実行

- 火災・感電のおそれあり。漏電遮断器はユニット1台につき1個設置すること。

◎一般注意

フィルターを取外す場合、注意すること。

ホコリ注意

- ホコリが目に入り、けがのおそれあり。

フィルター清浄・交換など高所作業時は足元に注意すること。

足元注意

- 落下・転倒・けがのおそれあり。

掃除をする場合、電源スイッチを切ること。（電源プラグ付きの製品は、プラグを抜くこと。）

回転物注意

- ファン・回転機器により、けがのおそれあり。

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

使用禁止

- 回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- 高温部に触れると、火傷のおそれあり。

ユニットの上に乗らないこと。物を載せないこと。

使用禁止

- 落下・転倒・けがのおそれあり。

空調機の風が直接あたる所に動植物を置かないこと。

使用禁止

- 悪影響のおそれあり。

空調機の風が直接あたる所に燃焼器具を置かないこと。

使用禁止

- 燃焼器具が不完全燃焼を起こすおそれあり。

殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹きつけたりしないこと。

使用禁止

- 火災・変形のおそれあり。

食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しないこと。

使用禁止

- 品質低下などのおそれあり。

長時間冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎたりしないこと。

使用禁止

- 体調悪化や健康障害のおそれあり。

運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。

接触禁止

- 流れる冷媒の状態により、低温または高温になっているため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。

水・液体などで洗わないこと。

水ぬれ禁止

- ショート・発火・感電・火災・故障のおそれあり。

濡れた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作しないこと。

ぬれ手禁止

- 火災・感電・故障のおそれあり。

換気をよくすること。

指示を実行

- 冷媒が漏れると、酸素欠乏のおそれあり。
- 冷媒が火気に触れると、有毒ガスが発生するおそれあり。

換気をよくすること。

指示を実行

- 燃焼器具を使用する場合、酸素欠乏のおそれあり。

薬品消毒する場合、ユニットを停止すること。

指示を実行

- 飛散した薬品を浴びると、けがをするおそれあり。

薬品消毒のあと、換気をし、4～5時間送風運転すること。

換気を実行

- ユニットに付着した薬品が飛散し、薬品を浴びると、けがをするおそれあり。

冷媒R410A使用機器としてのお願い

工具類の管理は従来以上に注意すること。

- チャージホース・フレア加工具などの管理が不十分な場合、冷媒回路内にほこり・ゴミ・水分などが混入し、冷凍機油の劣化・圧縮機が故障するおそれあり。

工具はR410A専用ツールを使用すること。

- R410A用として下表の専用ツールが必要です。

工具名	
ケージマニホールド	フレアツール
チャージホース	出し代調整用銅管ゲージ
ガス漏れ検知機	真空ポンプ用アダプター
トルクレンチ	冷媒充てん用電子はかり

フレア・フランジ接続部に塗布する冷凍機油は、エステル油またはエーテル油またはアルキルベンゼン（少量）を使用すること。

- 鉱油が多量に混入すると、冷凍機油の劣化・圧縮機が故障するおそれあり。

逆流防止器付真空ポンプを使用すること。

- 冷媒回路内に真空ポンプ油が逆流し、機器の冷凍機油の劣化・圧縮機が故障するおそれあり。

R410A以外の冷媒は使用しないこと。

- R410A以外（R22など）を使用すると、塩素により冷凍機油の劣化・圧縮機が故障するおそれあり。

チャージングシリンダーを使用しないこと。

- 使用すると冷媒の組成が変化し、能力不足のおそれあり。

液冷媒にて封入すること。

- ガス冷媒で封入するとボンベ内冷媒の組成が変化し、能力不足のおそれあり。

1. 各部のなまえ

室内ユニット

DCVP280A1(-6)形

〈外観〉

表示ランプ
切換スイッチ
リモコン

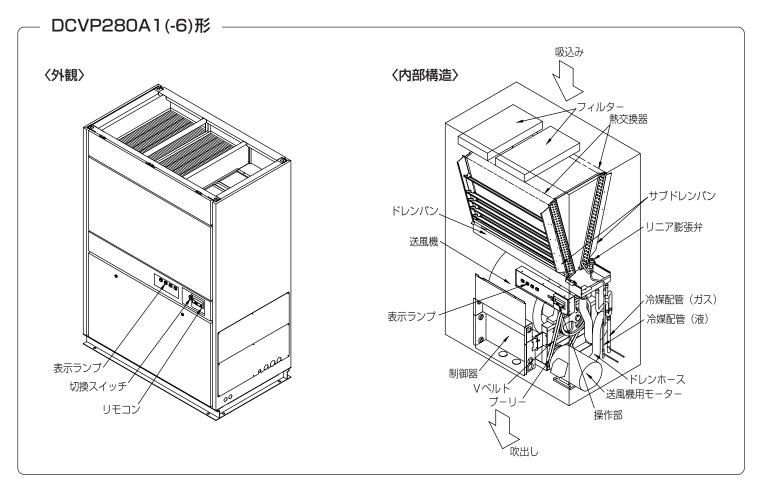
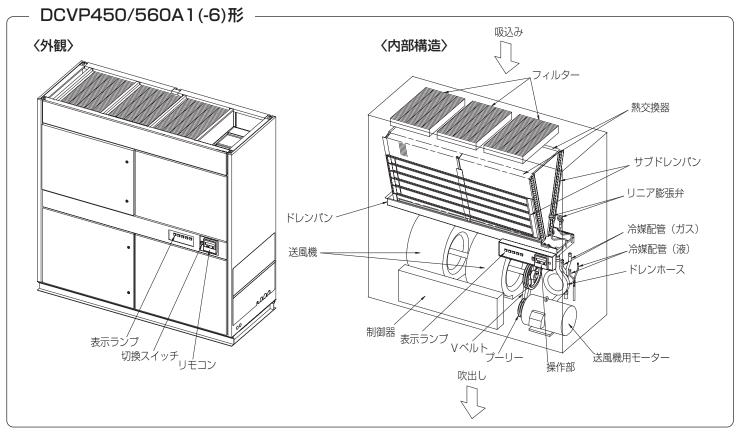
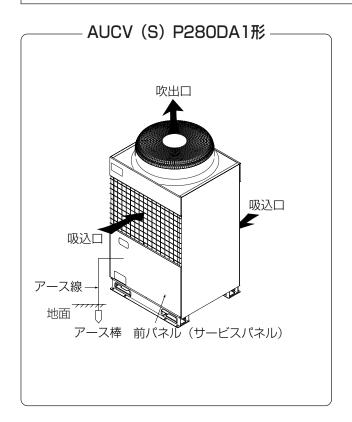
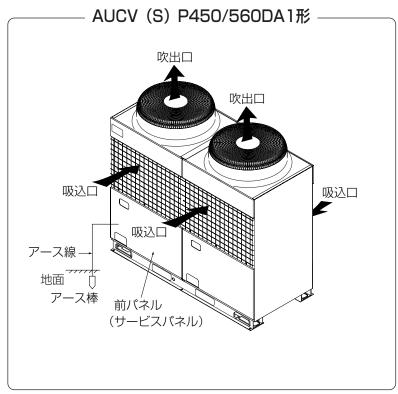
〈内部構造〉

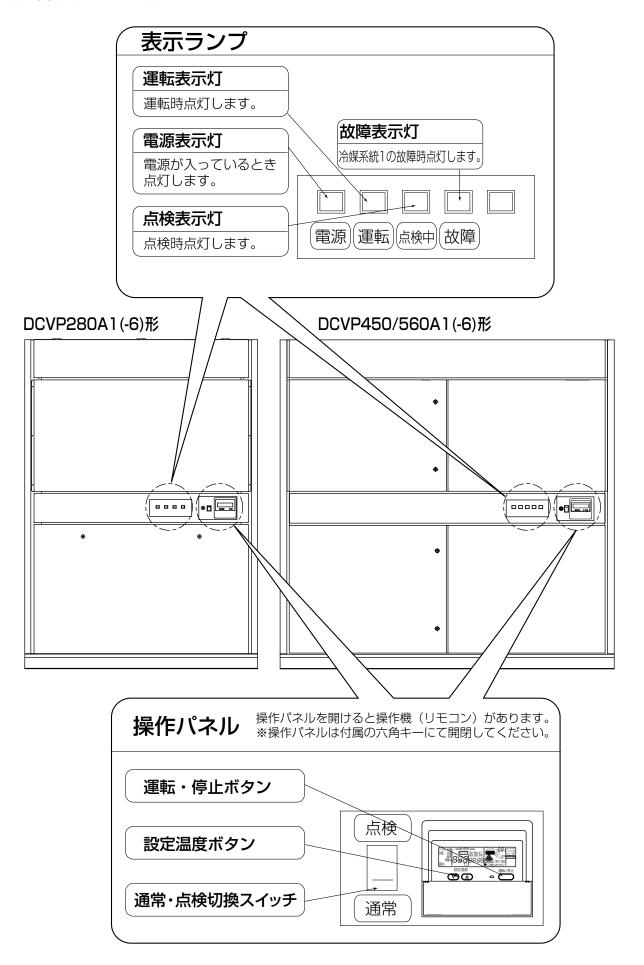
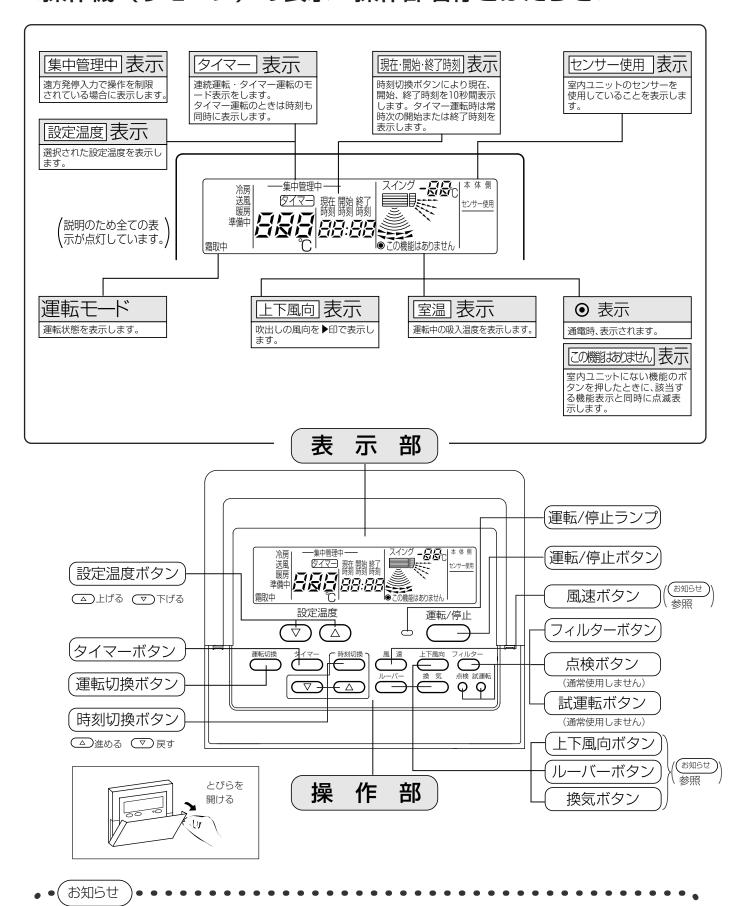
吸込み
フィルター
熱交換器
サブドレンパン
リニア膨張弁
ドレンパン
送風機
表示ランプ
冷媒配管（ガス）
冷媒配管（液）
制御器
Vベルト
プーリー
ドレンホース
送風機用モーター
操作部
吹出し

DCVP450/560A1(-6)形

室外ユニット

AUCV（S）P280DA1形
吹出口
吸込口
吸込口
アース線
地面
アース棒
前パネル（サービスパネル）

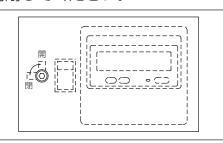
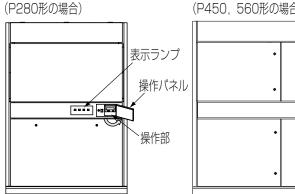
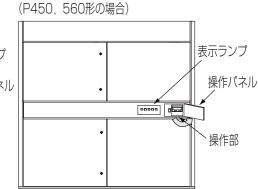
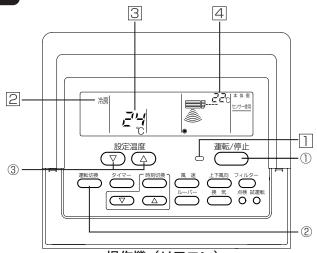
AUCV（S）P450/560DA1形
吹出口
吹出口
吸込口
吸込口
吸込口
アース線
地面
アース棒
前パネル
（サービスパネル）

2. 運転のしかた

(1) 操作部の名称とはたらき

＜操作機（リモコン）の表示・操作部名称とはたらき＞

お知らせ

●操作ボタンを押してもその機能が室内ユニットに装備されていないため、“この機能はありません”と点滅表示が出ます。

(2) 点検のしかた

1 操作パネルを開けます。

付属の六角キーにて操作パネルを開閉してください。

2 運転／停止と運転モード、室温調節のしかた

操作機（リモコン）

運転を開始するとき

■（運転／停止）ボタン①を押す。
●運転ランプ1と表示部が点灯します。

お知らせ ●再運転は、下記運転内容となります。

	リモコン設定内容
運転モード	前回運転モード
温度設定	前回設定温度

運転を停止するとき

■（運転／停止）ボタン①を押す。
●運転ランプ1と表示部が消えます。

運転モードを選ぶとき

■運転中に（運転切換）ボタン②を押す。
●1回押すごとに設定が切換わります。
運転モードが2に表示されます。

冷房 → 送風 → 暖房

設定温度を変えたいとき

■室温を下げたいとき･･･（▽）室温調節ボタン③を押す。
■室温を上げたいとき･･･（△）室温調節ボタン③を押す。
●1回押すごとに設定温度を1℃変えられます。
設定温度が3に表示されます。
●設定できる指定温度は次のとおりです。

冷房	暖房	送風
14～30℃※	17～28℃	設定できません

※吸込温度制御の場合 19～30℃

室温表示

運転中の吸込温度もしくは、吹出温度が4に表示されます。

お知らせ

●表示範囲は8～39℃で、これを超える場合は8℃、または39℃で点滅します。
●複数台の室内ユニットを操作する場合は、リモコンへの表示は、代表室内ユニット（グループ内の一番若いアドレス）の内容が表示されます。

3 通常・点検切換のしかた

点検運転するとき

通常・点検切換スイッチ を
点検側に倒す

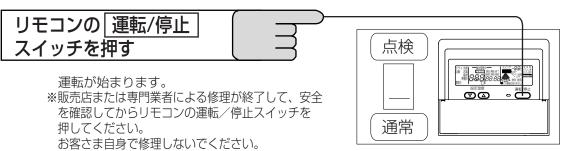
点検

通常

4 異常リセットのしかた

表示ランプの故障表示灯が点灯して、その異常をリセットしたいとき

リモコンの 運転/停止
スイッチを押す

運転が始まります。
※販売店または専門業者による修理が終了して、安全を確認してからリモコンの運転／停止スイッチを押してください。
お客さま自身で修理しないでください。

お知らせ

- ●運転を停止するとき、通常モードでは停止できません。点検モードに切換えてから、運転・停止スイッチを押してください。ただし、室内ユニット制御基板のスイッチ1-10がONの場合（遠方発停入力を使用しない場合）には、通常モードでも操作機（リモコン）での発停操作は可能です。
- ●点検モード中は遠方発停入力からの運転・停止操作はできません。
- ●リモコン操作から運転・停止へ切換る場合、数秒かかることがありますが、異常ではありません。
- ●停電復帰後、空調機が自動的に運転を再開した後、最大1分間リモコン表示部に「HO」表示します。
この間、リモコンを操作することはできません。緊急停止させたい場合は、漏電遮断器にて電源をOFFしてください。

(3) その他の表示・点滅について

故障表示灯の点灯

●「運転表示灯」と「故障表示灯」の両方が点灯している場合は、空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しているか、応急運転をしています。
操作機に表示されています、ユニットナンバー、エラーコードをメモして、サービスをお申しつけください。

●故障表示灯が消えている冷媒系統は正常に動作しています。

操作機（リモコン）の表示

集中管理中表示

●遠方発停入力で、操作を制限しているときに表示します。
制限される操作は以下のとおりです。
・運転／停止

お知らせ

●個々に制限される場合もあります。

エラーコードの点滅

●「運転ランプ」と「エラーコード」の両方が点滅している場合は、空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。
ユニットナンバー、エラーコードをメモして空調機の電源を切り、サービスをお申しつけください。

●「エラーコード」のみが点滅している場合
（運転ランプは点灯したまま）
空調機は運転を継続していますが、障害が発生している可能性があります。
エラーコードをメモして、サービスをお申しつけください。

上手な使い方

上手な使い方ー上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

冷房時は熱の侵入を少なく

●冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。
●出入口は必要なとき以外は開けないようにしましょう。

長時間直接お肌に風をあてない

●長時間エアコンの風が直接身体にあたると体調を悪くしたり、健康障害の原因になります。

フィルターの清掃を

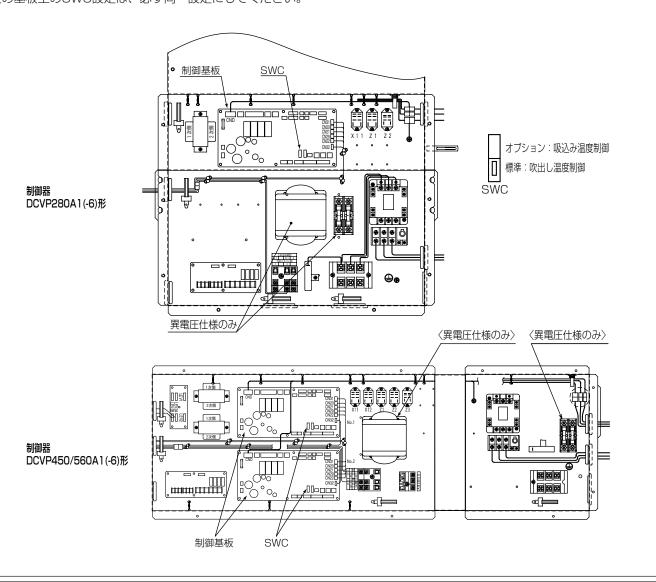
●フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、性能が落ち、電力のムダ使いとなります。
●フィルターは通常の環境では約2500時間ごとに清掃してください。

吸込み温度制御での温度設定にご注意

●吸込み温度制御で温度設定を低くすると、吹出し温度が低くなり階下等の建物が結露する原因になります。

もっと知りたいとき

室内ユニット吸込み温度／吹出し温度制御について

本機種は、上記のいずれかの温度制御が選択可能です。
図に示す室内ユニットの制御器内の制御基板上のスイッチSWCにて切換えが可能です。
製品出荷時は、吹出し温度制御設定（SWCが「標準」設定）になっています。
制御変更する場合は、制御器内の2枚の制御基板（P280形は1枚）上のSWCを
　　吸込み温度制御にする場合：「オプション」設定
　　吹出し温度制御にする場合：「標準」設定
にしてください。※暖房時は、設定によらず吸込み温度制御になります。
2枚の基板上のSWC設定は、必ず同一設定にしてください。

使用温度範囲

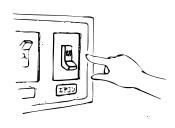
●使用温度の範囲から外れたところで使用しますと、重大な事故の原因となります。

		室内	室外
冷　房	乾球温度	19℃～35℃	-15℃～43℃
	湿球温度	12℃～24℃	―
暖　房	乾球温度	0℃～28℃	―
	湿球温度	―	-15℃～24℃

※室内外共に使用可能な湿度の目安は、相対湿度30～80%です。
※暖房機能は、低外気時の室内ウォーミングアップとしてお使いいただけます。ただし、冷却対象機器に影響がない範囲でご使用ください。
　また、吹出空気温度制御はご使用いただけません。

3. お手入れのしかた

お手入れの前に

■運転停止後、必ず、電源を「切」にしてください。

お手入れの内容

パッケージエアコンを末永くより良い状態でお使いいただくために「7.保証とアフターサービス」に従い点検を必ず実施してください。
安全のためにお手入れの前には必ず電源を「切」にしてから行ってください。

フィルターの清掃

フィルターを取外す場合、注意すること。

●ホコリが目に入り、けがのおそれあり。

ホコリ注意

フィルター清浄・交換など高所作業時は足元に注意すること。

●落下・転倒・けがのおそれあり。

足元注意

掃除をする場合、電源スイッチを切ること。(電源プラグ付きの製品は、プラグを抜くこと。)

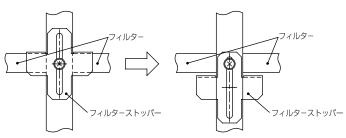
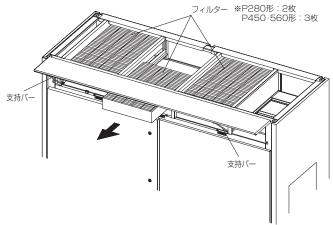
●ファン・回転機器により、けがのおそれあり。

回転物注意

エアフィルターを外した状態で運転しないでください。

●ユニット内部にゴミが詰まり、故障のおそれあり。

(1)フィルターを取外す。

■フィルターカバーを開き、支持バーでカバーを固定してください。
■フィルターストッパーのツマミネジを緩め、ストッパーをフィルター下方に移動させてください。
■フィルターを手前に引出してください。
(元に戻す場合は、向きに注意してください。AIR FLOW矢印下向き)

(2)フィルターのホコリを掃除機で吸い取るか、水洗いする。

■汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かした、ぬるま湯ですすいでください。
■熱い湯（約50℃以上）で洗わないでください。変形することがあります。

(3)水洗いしたあと、日陰でよく乾かす。

■フィルターは直接日光や直接火にあてて乾かさないでください。

(4)フィルターを元の状態に取付ける。(取外しの逆の手順)

ドレン排水の点検

ドレン排水はスムーズに流れているか調べてください。排水不良の場合は紙粉などでドレンパンの溝部分および配水管のトラップ部がつまっていないか調べてください。
なお、ドレンパン溝部分および配水管のトラップ部は詰まらないようにこまめに清掃してください。
トラップは、必ず封水された状態を保持してください。

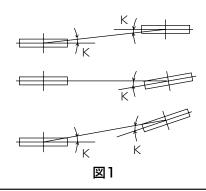
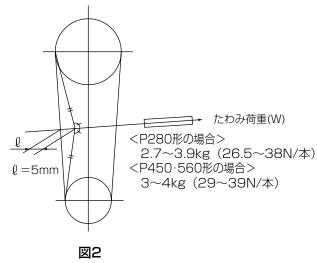
Vベルトの点検

1.ファンプーリーと電動機プーリーの平行度は図1.表1の規格を満足するようにセットしてください。
2.Vベルトの1本当たりの張力は適正たわみ量(ℓ＝5mm)の時のたわみ荷重(W)が図2の値になるようにセットしてください。
3.ベルトがプーリーになじんだ後、(運転後24〜28時間以後)図2の適正張りに調整することをお奨めします。
　また、新しいベルトの場合は、たわみ荷重(W)の最大値の約1.3倍程度に調整するようにしてください。
　初期伸び調整のあと、2000時間ごとに張り再調整を行ってください。
4.Vベルトは8000時間ごとに交換することをお奨めします。
　[Vベルトは初期のび(約1%)を含め、ベルト周長が約2%のびた時点で寿命です。]
※平行度の調整のためプーリーの止めねじをゆるめて、再度固定する場合は、ゆるみ防止のためネジロック（ThreeBond 1322N相当品：現地手配）を塗布し、13.5N・mのトルクで締め付けてください。

表1

平行度 / プーリー	K(分)	備　考
鋳鉄製プーリー	10以下	1m当たり3mmのずれに相当

図1

図2

室外ユニット熱交換器の洗浄

長期間エアコンを使用しますと、空冷式の熱交換器の場合にはほこりなどが付着し、熱交換が悪くなって冷房能力が低下します。
洗浄方法についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

送風機軸受のグリース補給

軸受を長期間安心してご使用戴くために、1年に1回程度新しいグリースを補給してください。グリース寿命を延ばすとともに軸受寿命を長くすることができます。グリースは次のものをご使用ください。

シェル石油	アルバニヤグリースNo.3 石けん基　リチウム系
グリース補給量	10.5g

パネルの清掃

中性洗剤を柔らかな布にふくませて拭き、最後に乾いた布で洗剤が残らないよう拭き取ります。

ベンジン・シンナーの使用は避けてください。

4. 長期間ご使用にならないとき

長期間ご使用にならないとき

(1)4～5時間、送風運転して室内ユニット内部を乾燥させる。
(2)室内ユニットの電源を切る。

再度使い始めるとき

■下記作業(1)～(4)の点検を行い、異常のないことを確認後、電源を入れてください。

(1)フィルターを清掃して、取付ける。
(2)室内・室外ユニットの吹出口・吸込口がふさがれていないことを確認する。
(3)アース線が外れていないことを確認する。室内ユニットにも取付けてある場合があります。

D種接地工事（アース工事）は第一種電気工事士（工事条件によっては第二種電気工事士）の資格のある電気工事業者が行うこと。

- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線などに接続しないこと。（ガス管にアースすると、ガス漏れ時に爆発・引火の可能性があります。）
- アースに不備がある場合、ノイズによるユニットの誤作動・感電・発煙・火災のおそれあり。
- 電算機器アースとの共用・共締めは行わないこと。機器誤動作の原因になるおそれあり。

アース接続

(4)ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まり、トラップの破損などのないことを確認し、トラップに注水して、封水されていることを確認する。
(5)運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。

5. こんなときには・・・ Q&A

●動かない！

症状	原因・処置
室内ユニットの運転表示（緑）が点灯しない。	■電源が入っていないことが考えられます。電源をご確認ください。 ユニットの電源が入っていないと、ユニットの通電表示（白）が点灯しません。

●勝手に動き出した！

症状	原因・処置
運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。	■遠方発停入力で、操作した場合に運転を開始します。 ■停電自動復帰機能に設定されているため、運転中に停電または電源を切った後、電源を入れると、自動的に運転を開始します。

●勝手に停止した！

症状	原因・処置
運転・停止ボタンを押さないのに停止した。	■遠方発停入力で、操作した場合に運転を停止します。

●よく冷えない！

症状	原因・処置
よく冷えない。	■温度調節を確認して、設定温度を調節してください。 ■フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下している場合は、フィルターの清掃をしてください。 ■室内ユニットの吹出し口・吸込み口が塞がれている場合は、室内ユニット周囲空間を広く開けてください。
再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したがすぐ運転しない。	■空調機を保護するため、マイコンの指示で止まっています。 再運転をした場合は、運転するまで約1分間お待ちください。

●音がする！

症状	原因・処置
水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。	■ユニット内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切換わるときの音です。異常ではありません。 ※もし気になるような音の場合は、お買上げ販売店にご相談ください。
“ピシッ、ピシッ”という音がする。	■温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。 異常ではありません。 ※もし気になるような音の場合は、お買上げ販売店にご相談ください。

●水蒸気・水（室内ユニット）が出る！

症状	原因・処置
室内ユニットより白い霧状の水蒸気が出る。	■室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。異常ではありません。
室外ユニットより水・水蒸気が出る。	■冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。

●風が出てこない！

症状	原因・処置
すぐに風が出ない。	■電源が入っていないことが考えられます。電源をご確認ください。 ユニットの電源が入っていないと、ユニットの通電表示（白）が点灯しません。 ■運転中にもかかわらず、風が出てこない場合は、送風用モーターの異常などが考えられます。お買い上げ販売店にご相談ください。

●操作機および表示灯表示について

症状	原因・処置
室内ユニット内操作機表示部にエラーコードが表示される。 室内ユニットの異常表示灯（赤）が点灯している。	■自己診断機能が作動してエアコンを保護しています。 ※自分では絶対に修理しないでください。お買上げの販売店に製品名・エラーコードの表示内容を連絡してください。

●リモコンの表示について

症状	原因・処置
リモコンの運転表示が点灯しない。	■電源が入っていないことが考えられます。電源をご確認ください。 ユニットの電源が入っていないと、リモコンに通電表示（◉）が点灯しません。
リモコン表示部に“集中管理中”の表示がでている。	■遠方発停入力で、操作を制限されている場合に表示します。

6. 保証とアフターサービス

■保証書は室内ユニットに添付しております。

■ご不明な点や修理に関するご相談はお客様相談窓口（別添）にお問い合わせください。

■本製品を良好な状態で長く、安心してお使いいただくために、日常点検（フィルター清掃など）以外に、専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。

標準的な保守・点検の「点検周期」、および定期点検に伴う「保全周期」を以下に示します。

1 保守・点検周期

1.予防保全の目安

以下の保全周期は、定期点検の結果に基づき必要になるであろう部品交換、修理実施の予測周期を示すものであり、保全周期で必ず交換が必要ということではありません。（ただし、消耗部品であるファンベルトを除きます）
また、保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。

表1．保守・点検周期

ユニット	部　　品	点検周期	保全周期	日常点検	保守点検	備　　考
室内	ファンモーター	6カ月	40000時間		○	
	ベアリング		40000時間		○	1回/年の頻度で潤滑油を給油
	ファンベルト	2カ月	8000時間		○	消耗部品
	エアフィルター	3カ月	5年	○		点検周期は、現地状況にて影響されます
	ドレンパン(エマージェンシードレンパンを含む)	6カ月※2	8年		○	
	ドレンホース		8年		○	
	リニア膨張弁	1年	25000時間		○	
	熱交換器		5年		○	
	フロートスイッチ	6カ月	25000時間		○	
	表示LEDランプ	1年	25000時間		○	
	ベーパーパン加湿器	2カ月※2	25000時間			ベーパーパン加湿器(受注/別売)組込み時
室外	圧縮機	6カ月	40000時間		○	
	ファンモーター		40000時間		○	
	リニア膨張弁	1年	25000時間		○	
	四方弁		25000時間		○	
	熱交換器		5年		○	
	圧力スイッチ		25000時間		○	
	インバーター冷却ファン		40000時間		○	
	アクティブフィルター冷却ファン ※1		40000時間		○	

※1：アクティブフィルター（別売）組込み時のみ
※2：建築物衛生法（ビル管法）対象建築物の場合は、1回/月の定期点検および必要に応じて清掃が義務付けられています。

2.注意事項

●上表の保守・点検周期は、以下のご使用条件の場合です。
　A．頻繁な発停のない、通常のご使用条件であること。（機種によって異なりますが、通常のご使用における発停回数は、6回／時間以下を目安としています。）
　B．製品の運転時間は、24時間／日と仮定しています。

●また、下記の項目に適合する場合には、「保守周期」の短縮を考慮する必要があります。
　①温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
　②電源変動（電圧、周波数、波形歪み等）が大きい場所でご使用される場合。（許容範囲外での使用はできません）
　③振動、衝撃が多い場所に設置されご使用される場合。
　④塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。

●点検周期に基づいた定期点検実施の場合でも予期できない突発的偶発事故が発生することがあります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。

●補修用部品の保有期間について
この製品の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後9年間となっています。この期間は経済産業省(旧通商産業省)の指導によるものですが、当社はこの基準により補修部品を調達した上、修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を実施致します。

2 定期点検内容

表2．保守・点検内容

ユニット	部品	点検周期	点検項目	判定基準	保全内容
室内	ファンモーター	6カ月	・運転音の聴覚チェック ・絶縁抵抗の測定	・異常音なし ・絶縁抵抗が1MΩ以上のこと	絶縁劣化の場合、交換
	ベアリング		・運転音の聴覚チェック	異常音なし	給油しても異常音ある場合、交換 1回/年の頻度で潤滑油を給油
	ファンベルト	2カ月	・張り度合いチェック ・摩耗､傷の有無外観チェック ・運転音の聴覚チェック	・たわみ荷重 〈P280〉26.5～38N/本 〈P450・560〉29～39N/本 たわみ量5mm程度が適正 ・ベルト周長の伸びが初期に比べ2%以下 ・摩耗、傷なし ・異常音なし	張り調整 ベルト周長伸びが2%以上､もしくは8000時間以上の運転で交換 摩耗、傷ある場合、交換
	エアフィルター	3カ月	・汚れ、破損の外観チェック ・清掃	・汚れ、破損なし	清掃 汚れひどく、破損の場合、交換
	ドレンパン （エマージェンシードレンパンを含む）	6カ月	・汚れ、排水口詰まりチェック ・取付け部ネジ緩みチェック ・劣化有無チェック	・汚れ、詰まりなし ・ネジ緩みなし ・著しい劣化なし	汚れ、詰まりの場合清掃 ネジ増し締め 劣化著しい場合、交換
	ドレンホース		・封水の確認 （ホース内に注水する） ・汚れ、排水口詰まりチェック ・劣化有無のチェック	・汚れ、詰まりなし ・著しい劣化なし	汚れ、詰まりの場合清掃 劣化著しい場合、交換
	熱交換器	1年	・詰まり、汚れ、損傷チェック	詰まり、汚れ、損傷なし	清掃
	フロートスイッチ	6カ月	・外観チェック ・異物付着チェック	・劣化、断線なきこと ・異物なきこと	断線、および著しい劣化の場合、交換 異物付着の場合、清掃
	表示LEDランプ	1年	・点灯チェック	・出力ONで点灯 ・輝度低下	出力ONでも消灯の場合、ランプ交換
	ペーパーパン加湿器	2カ月	・槽内のスケール付着 ・ドレン抜きからの水漏れ	・スケールの付着なきこと ・水漏れなきこと	異物付着の場合、清掃 電磁弁動作不良で、要因が本体の場合、交換
室外（空冷）	圧縮機	6カ月	・運転音の聴覚チェック ・絶縁抵抗の測定 ・端子緩み外観確認	・異常音なし ・絶縁抵抗が1MΩ以上のこと ・端子緩みなし	冷媒が寝込んでない状態で絶縁劣化の場合、交換 端子緩みの場合、増し締め
	ファンモーター （空冷室外ユニットのみ）		・運転音の聴覚チェック ・絶縁抵抗の測定	・異常音なし ・絶縁抵抗が1MΩ以上のこと	絶縁劣化の場合、交換
	四方弁	1年	・運転データによる動作チェック	弁切換え時で温度変化が妥当なこと （冷房/暖房運転切換え時の温度変化確認）	動作不良で、要因が本体の場合、交換
	熱交換器		・詰まり、汚れ、損傷チェック	詰まり、汚れ、損傷	清掃
	圧力スイッチ		・断線、劣化、コネクター抜けチェック ・絶縁抵抗の測定	・断線、劣化、コネクター抜けなし ・絶縁抵抗が1MΩ以上のこと	断線、ショート、著しい劣化、絶縁劣化の場合、交換
	インバーター冷却ファン		・運転音の聴覚チェック ・絶縁抵抗の測定 ・異常履歴の確認	・異常音なきこと ・絶縁抵抗が1MΩ以上のこと ・異常履歴にヒートシンク加熱保護(4230,4330)がないこと	異常音あり、絶縁劣化、異常履歴ある場合は、交換
	アクティブフィルター冷却ファン （空冷室外ユニットのみ）		・運転音の聴覚チェック ・絶縁抵抗の測定	・異常音なきこと ・絶縁抵抗が1MΩ以上のこと	異常音あり、絶縁劣化の場合、交換

■アフターサービスご契約のおすすめ

●保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検を致します。
万一の故障時も早期に発見し適切な処置を行う事ができます。

■保証書について[保証期間は、お買い上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。]

●保証書はお買い上げの店で所定事項を記入しお渡ししますので、記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

●保証期間中、万一故障した時は、お買い上げの店または指定のサービス店にご連絡ください。
保証書の記載事項に基づいて1年間は無償修理致します。**[保証期間経過後の修理は有償になります。]**
保証期間中でも有償になる場合もありますので、保証書をよくお読みください。

■移設および廃棄について

●転居などでエアコンを移動再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。

●エアコンを廃棄される時は冷媒の回収などが必要ですので､お買い上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。

7. 移設・工事・点検について

■移設について

①増改築・引越しのためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。
②据付けや移設時に冷媒を追加充填する場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。

■設置場所について

①設置・移設する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。
②次の場所への据付けは避けてください。

・可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
・酢（酢酸）を多量に使用するところ
・海浜地区等塩分の多いところ
・温泉地などの硫化（イオウ系）ガスの発生するところ
・酸性の溶液を頻繁に使用するところ
・粉や蒸気が多量に発生するところ
・油煙のたちこめるところ
・湿気の多い場所
・高周波加工機（高周波ウェルダー等）のあるところ
・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ

など、エアコンの周囲雰囲気が特殊な場所で使用しますと、多くの場合エアコンの故障のもとになります。
詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
③室内ユニットは必ず水平に据付けてください。水たれなどの原因となります。

■保守点検契約のおすすめ

●エアコンを数シーズンご使用になりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります。ご使用状態によっては臭いが発生したり、ゴミ、ホコリなどにより除湿水の排水が悪くなることがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約（有料）をおすすめします。

■電気工事について

①電気工事は、電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付工事説明書に従って施工してください。
②電源はエアコン専用の回路を設けているか販売店にご確認ください。他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカーやヒューズが切れることがあります。
③アースを確実に行ってください。
詳しくはお買い上げの販売店にご確認ください。
④必ず漏電遮断器を取り付けてください。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
⑤ブレーカー・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

■騒音にもご配慮を

①据付けにあたっては、エアコンの重量に十分耐える場所で騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
②室外ユニットの吹出口からの温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
③室外ユニットの吹出口の近くに物を置きますと、性能低下や騒音増大のもとになりますので、吹出口付近には障害物を置かないでください。
④エアコンをご使用中、異常音がする場合などは、お買い上げの販売店にご相談ください。
⑤室外ユニットの製品仕様表などに記載されている騒音値は、無響音室にて測定した場合の値です。従って現地での据付環境、および反響によって騒音値は大きく影響されますので注意が必要です。
通常の住宅地など静粛性が要求されるような居住地域への隣接設置は避けてください。

8. 仕　様

＜標準仕様＞ 200V

●DCVP280A1(-6)形

		DCVP280A1	DCVP280A1-6
冷房能力		kW	28.0	
暖房能力		kW	31.5	
電源			三相200V　50Hz	三相200V　60Hz
送風機	風量	m³/min	160	
	機外静圧	Pa	120	
運転音		dB	59.0	
外形寸法（H×W×D）		mm	1950×1380×780	
質量		kg	380	

●DCVP450A1(-6)形

			DCVP450A1	DCVP450A1-6
冷房能力		kW	45.0	
暖房能力		kW	50.0	
電源			三相200V　50Hz	三相200V　60Hz
送風機	風量	m³/min	260	
	機外静圧	Pa	120	
運転音		dB	60.0	
外形寸法（H×W×D）		mm	1950×1980×780	
質量		kg	490	

●DCVP560A1(-6)形

			DCVP560A1	DCVP560A1-6
冷房能力		kW	56.0	
暖房能力		kW	63.0	
電源			三相200V　50Hz	三相200V　60Hz
送風機	風量	m³/min	320	
	機外静圧	Pa	120	
運転音		dB	63.0	
外形寸法（H×W×D）		mm	1950×1980×780	
質量		kg	520	

＜異電圧仕様＞※受注対応 380/400/415/440V

●DCVP280A1(-6)形

			DCVP280A1	DCVP280A1-6
冷房能力		kW	28.0	
暖房能力		kW	31.5	
電源			三相380V,400V,415V,440V　50Hz	三相400V,415V,440V　60Hz
送風機	風量	m^3/min	160	
	機外静圧	Pa	120	
運転音		dB	59.0	
外形寸法（H×W×D）		mm	1950×1380×780	
質量		kg	384	

●DCVP450A1(-6)形

			DCVP450A1	DCVP450A1-6
冷房能力		kW	45.0	
暖房能力		kW	50.0	
電源			三相380V,400V,415V,440V　50Hz	三相400V,415V,440V　60Hz
送風機	風量	m^3/min	260	
	機外静圧	Pa	120	
運転音		dB	60.0	
外形寸法（H×W×D）		mm	1950×1980×780	
質量		kg	494	

●DCVP560A1(-6)形

			DCVP560A1	DCVP560A1-6
冷房能力		kW	56.0	
暖房能力		kW	63.0	
電源			三相380V,400V,415V,440V　50Hz	三相400V,415V,440V　60Hz
送風機	風量	m^3/min	320	
	機外静圧	Pa	120	
運転音		dB	63.0	
外形寸法（H×W×D）		mm	1950×1980×780	
質量		kg	524	

愛情点検

●長年ご使用のエアコンの点検を！

エアコン補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後9年です。

ご使用の際、このようなことはありませんか？

●運転音が異常に大きくなる。
●室内ユニットから水が漏れる。
●電源が頻繁に落ちる。
●その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

サービスをお申しつけになるときは次のことをお買い上げの販売店にご連絡ください

・エアコンのタイプ ：
・エアコンの形式名 ：
・ご購入日 ：
・異常の内容 ：できるだけ詳しく。エラーコードが点滅したときはエラーコードをメモしてください。
・ご住所 ：
・ご氏名 ：
・電話番号 ：
・訪問ご希望日時 ：

■お客様メモ

ご購入店名 ：

電話番号 ：

担当者 ：

ご購入日 ： 年 月 日

お客様ご相談窓口

アフターサービスはお買い上げ店にご依頼ください。なお、転居その他の理由でお買い上げ店にアフターサービスを依頼することができない場合は、下記のお客様相談センターにご相談ください。（電話番号は予告なく変更することがありますのでご了承下さい。）

三菱重工空調システム株式会社　サービス本部

サービスフロントセンター（修理受付・部品・技術相談） **0120-975-365**

冷熱事業本部　〒452-8561 愛知県清須市西枇杷島町旭3-1

PRB012A001
WT05517X01